



「働きやすい職場」認証三つ星取得

全国33社の狭き門

(株)第一名誠(瀬尾国大社長、名古屋港区)は2月29日付で「働きやすい職場認証制度」の三つ星認証を取得した。有効期限は2026年3月31日。働きやすい職場認証制度とは、トラックやバス・タクシーなどの自動車運送事業の運転者不足に対応する取り組みの一環で、職場環境改善に

向けた取り組みを「見える化」することで、人材確保を後押しすることを目的としたもの。正式名称は「運転者職場環境良好度認証制度」で、令和2年度に創設された。令和2年度および3年度は「一つ星」のみの申請を受け付けていたが、認証を得た事業者のより高い水準への移行を促すため、令和4年度から「二つ星」、令和5年度から「三つ星」を新たに導入した。審査要件は、①法令遵守等、②労働

時間・休日、③心身の健康、④安心・安定、⑤多様な人材の確保・育成、⑥自主性・先進性等、の6分野について、基本的な取組要件を満たすこと。ただし⑥は「二つ星」「三つ星」のみで、「一つ星」では参考点として点数化される。また、「三つ星」においては、②、③、⑤について認証項目を追加されるだけでなく、①、⑥の認証項目に加え、働きやすい職場実現のための方針、課題、目標、改善に向けた行動計画、体制整備などの記載欄を設け、事業者の改善に向けたPDCAが適切に回っているかについても審査される。一つ星、二つ星はいわゆる自己申告

による書面審査だが、三つ星では完全対面審査になり一気にハードルが上がる。それは一つ星の認証事業者数が1676社(うちトラック1549社)、二つ星が1293社(同849社)、いずれも令和5年7月14日時点、そして初めての三つ星審査となった今回、認証取得事業者が全国でわずか57社(同33社)であった点からもその水準の高さがうかがえる。申請数も非公表ながら2桁にとどまったとみられている。

瀬尾社長は、今回の三つ星審査について「私自身、創業時の若い頃に父とともにこの会社で寝る間も惜しんで働いてきた。当時は苛烈な労働環境から従業員の出入りも激しく、まさに一歩進んで二歩下がる状態だった。そうした反省もあり、

10年ほど前から働きやすい職場環境を目指して取り組んできた。その結果、当日は2人の審査員から何も指摘するところがないと高く評価された」と普段通りの内容で審査をパスしたことに胸を張る。

「働きやすい職場認証」で、もっとも取り組みが困難な部分の一つが労働時間だ。なぜなら、労働時間を短縮すればその分、従業員にとって収入減につながりかねないからだ。しかし同社では、これまで継続的な運賃値上げのほか、荷待ち時間の短縮、高速道路利用など、荷主との粘り強い交渉によって労働環境向上に必要な条件を勝ち取ってきた。「お客様に対し毅然とした姿勢で交渉でき、かつご理解をいただけているのも、しっかりと輸送品質があるからこそだ。普段からトラックを綺麗にし、無事故で頑張ってくれている従業員にはとても感謝している」と瀬尾社長。そうした思いから4月から大幅な昇給を実施することも決めた。そして人手不足が叫ばれる中、同社では直近の求人2名の募集に対し47人の応募があったという。今後は、三つ星認定を取得した事業者に対し、「例えば労災保険を半額にするとか補助金や助成金などが優先で受けられるなどインセンティブをつけ、そこで得られた利益の一定部分をさらなる職場環境向上のために活用しなければならぬ」といった条件付与があってもいいのではないかと提案もする。



「働きやすい職場認証制度」三つ星認証を手にする瀬尾国大社長